

平成 21 年度春 システム監査技術者試験分析速報

2009,4,20 (株) アイテック 情報技術教育研究グループ

1. 試験全体講評

新試験制度で初回の実施となった平成 21 年春期のシステム監査技術者試験の分析(速報)について述べます。

午前Ⅰ、午前Ⅱは、オーソドックスな問題がほとんどで、比較的対応しやすい問題でした。試験の形式は変わりましたが、問題の内容自体は大きな変化はありませんでした。午後Ⅰも、解答問題数が 3 問から 2 問に変わりましたが、問題文の長さ、設問の解答字数ともに、以前と比較して大きな変化はありませんでした。問題によって、難易度にばらつきがあることもあり、以前よりも問題の選択がより重要になったと考えられます。午後Ⅱも字数指定が変わりましたが、設問内容自体は、以前と比較して大きな変化はありませんでした。問 3 が非常にオーソドックスな問題であったこともあり、多くの受験者が論文を書き上げられたのではないかと思います。

2. 午前Ⅰ試験講評

従来の午前試験と比較すると、難易度は低くなったと思われ、難しい問題はあまりありませんでした。分野的には、出題範囲の分野からほぼ満遍なく出題がされていました。

新しい傾向としては、サーバで使用されるオープンソフトウェアに関する問題が出題されていたことと、TLO 法の問題が出題された点などが挙げられます。

問題の冒頭に、論理回路の表記ルールが提示されたので、論理回路の問題が多く出題されるのかと思いましたが、1 問出題されただけで、しかも問題文の中で再度論理回路の説明がされていました。

3. 午前Ⅱ試験講評

出題の順番が従来とは以前の午前問題とは異なり、最初にシステム監査の問題があり、その後に法務、ネットワーク、経営などの問題が出題されていましたが、問題の内容自体は従来と大きく変わるものではありませんでした。難易度もオーソドックスな問題が多く、比較的やさしい問題が多かったと思います。

新しい傾向の問題としては、内部統制の職務の分離に関する問題、CSR のキャロルの四つの責任分野に関する問題、連結財務諸表に関する問題、DNS キャッシュポイズニングに関する問題などが挙げられます。

4. 午後Ⅰ講評

今年から4問中2問選択に変わり、1問あたりの解答量が増えると思われていましたが、設問が四つに増えたのは問1と問4の2問で、残りの2問は設問が三つのままでした。解答の字数も、210字前後で従来とあまり変わりはありませんでした。

また、出題が予想された組込みシステムに関する問題は出題されず、出題分野も従来と比較して大きな変化はありませんでした。

問1 ERPパッケージの監査

ERPパッケージの監査に関する問題です。セキュリティ中心の設問で、必要なコントロールを答える設問がほとんどでしたが、設問のヒントが見つげにくく、答えにくい問題でした。

問2 店舗販売プロセスの内部統制評価

店舗販売プロセスの内部統制評価に関する問題です。金融商品取引法の内部統制評価に即した内容でした。問題文の記述も分かりやすく、ヒントも見つけやすかったので、比較的対応しやすい問題でした。

問3 顧客管理システムの監査

健康食品の通信販売業者の顧客管理システムの監査に関する問題です。この問題もセキュリティ中心の内容でした。ヒントの場所も見つけやすく、セキュリティ問題としてはオーソドックスで、比較的解答しやすい問題でした。

問4 システム開発の監査

システム開発の監査に関する問題です。システム管理基準にほぼ即した内容の問題で、ヒントの場所も明確なのですが、システム監査の基本的な考え方を理解していないと、解答の糸口がつかみにくかったかもしれません。

5. 午後Ⅱ講評

今年度から字数の指定が変わり、設問イ、設問ウともに、700字以上1400字以上に変更になりました。テーマは、シンククライアント、ログの活用、情報システムの信頼性の確保の三つが出題されましたが、問3はオーソドックスなシステム監査の問題なので、多くの受験生が答えやすかったのではないかと思います。それに対して、問1、問2はこの分野に経験があれば、答えやすい問題であったと思います。

問1 シンククライアント環境のシステム監査

この問題は、シンククライアントに関する経験や知見があるかどうか、選択のポイントだったと思います。設問内容は、書きやすい内容ですので、シンククライアントのリスクについて知見がある人は書きやすい問題だったと思います。

問2 システム監査におけるログの活用

何らかの観点でログの活用に携わっている人には、それほど難しくない問題だったと思います。設問イで、ログの選定や入手方法にかかわる留意事項を述べなくてはいけないので、この部分に関して独自の論点が展開できたかどうかポイントになる問題でした。

問3 企画・開発段階における情報システムの信頼性確保に関するシステム監査

システム監査の定番テーマである情報システムの信頼性確保に関する問題でしたので、多くの人がこの問題を選択したのではないかと思います。設問内容も設問イでリスクを述べ、設問ウで監査上の留意点を述べればよいので、この面でも書きやすかったと思います。

以上

